

市長への手紙（令和3年度分）

「市民会館の建設について」

毎週全国の都市を巡り、その地より放送されるテレビを見ていると、どこの市も立派な会館を持っているのが分かる。茂原でも他市と同じような施設を持ってしかるべき。しかし、行政は施設建設に向かおうとはしていない。是非とも早い時期に建設が実現されることを切望します。

【回答】

市民会館につきましては、「(仮称)茂原市民会館建設基本構想」にもありますように、地方興行を主体とせず、日常的な市民の文化芸術活動・創造拠点として、さらには世代や地域、文化芸術ジャンルなどを超えた交流と新たな発見や出会いのある市民の居場所としての施設を目指しております。そのため、旧市民会館の利用状況の8～9割を占める800席以内とし、さらに芸術の観賞に加えて、バスケットボール等のスポーツ観戦としても利用ができるよう平土間形式の大ホールとする計画としました。

しかしながら、新市民会館の建設につきましては、基本計画に示しましたとおり、71億円という多額の事業費を見込んでおります。また建設候補地である旧市民会館の敷地につきましては、令和元年度の大雨災害により、浸水したことから、建設予定地を含めた再検討が必要な状況となっております。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況の悪化により、税収の落ち込みが見込まれるため先が見通せず、当面は、建設に向けた検討が行えない状況です。

新市民会館の建設につきましては、市民の皆様より大きな期待を受けておりますので、財政状況を考慮しながら、進めてまいりたいと考えております。

【担当課：企画政策課】